

京都で働き、生き、学び続けるために

参加
無料
定員 200名

第1部 基調講演
13時30分～15時00分

「キャリアの節目は自分でデザインしよう」



神戸大学大学院経営学研究科教授

金井 寿宏 氏

1954年生まれ。78年京都大学教育学部卒業。80年神戸大学大学院経営学研究科博士前期課程を修了。89年MIT（マサチューセッツ工科大学）でPh. D.（マネジメント）を取得。92年神戸大学で博士（経営学）を取得。神戸大学大学院経営学研究科教授。変革型のリーダーシップ、創造性となじむマネジメント、働くひとのキャリア発達、次期経営幹部の育成、これからの人事部の役割、組織エスノグラフィーなど組織の研究手法、研究とつながる教育・研修のあり方（リサーチ・ベースト・エデュケーション）を主たるテーマとしている。

2007年に生まれた子どもの半数が107歳まで生きると予想されている＜人生100年時代＞を迎え、今まで以上に私たちは「キャリア」を意識する必要に迫られています。

改めて「キャリア」とは何かについて考えてみましょう。

「キャリア」は、ステップアップしていく職歴のことだけではありません。「キャリア」とは「自分らしさや幸せを感じるための長期的な仕事生活の方向付け」であると定義し、「人生の節目に自らのキャリアを意識的にデザインすること」と「節目と節目の間は自然の流れに身を任せる（ドリフトすること）のバランスの大切さを説く金井寿宏さんを講師に迎え、＜人生100年時代＞を自分らしく生きていくためのヒントを探していこうと思います。

第2部 パネルディスカッション
15時10分～16時30分

「京都で働き、生き、学び続けるために」

パネリスト／ 井上 信治 氏（島津労働組合）・佐々木 真成 氏（合同繊維労働組合）
寺井 基博 氏（同志社大学）・中西 朋子 氏（京都市）

コーディネーター／ 斎藤 真緒 氏（学園長・立命館大学）

京都勤労者学園理事である各パネリストから、「働く」「生きる」「学ぶ」について提案し、今後の勤労者教育や学園の果たす役割について考えます。

2017年

10月28日 土 ラボール京都 2階大ホール

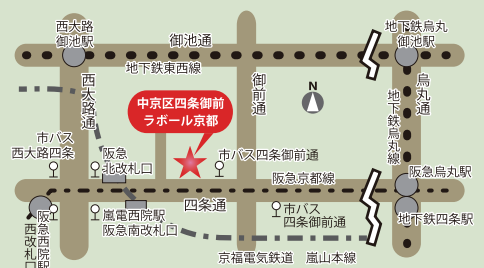
13時30分～16時30分（開場13時）

参加申込・お問合せ

電話・メール・WEBにてラボール学園までお申込みください。

tel **075-801-5925** 月-金 9:00-20:00
土 9:00-17:00
Email gakuen@labor.or.jp（講演会名・氏名・連絡先（住所・電話）を御連絡ください。）

ホームページ <http://www.labor.or.jp/gakuen>



※市バス「四条御前通」バス停すぐ※嵐電西院駅東へ徒歩1分
※阪急西院駅（河原町方面からの方は南改札口東へ徒歩1分）
梅田方面からの方は北改札口東へ徒歩1分
※市営地下鉄東西線「西大路御池駅」1番出口南へ徒歩10分

主催 京都市・(公社)京都勤労者学園
後援 京都府